

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和6年5月9日

東京都港区海岸1-11-1
ニューピア竹芝ノースタワー17階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 坂 横 義 夫

| | |
|-------------|--|
| 1. 接合金物名称 | 高耐力ホールダウンHi143 (45mm枠材仕様) |
| 2. 試験依頼者 | 株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1 |
| 3. 目的 | 当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。 |
| 4. 試験内容 | 柱頭柱脚接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和2年9月11日制定)」による。 |
| 5. 試験体仕様 | <p>1) 接合金物</p> <p>「高耐力ホールダウンHi143 (45mm枠材仕様)」 材 質: SS400(JIS G 3101)*1 寸 法: (外形)75mm×72.5mm×690mm t=4.5mm ビス用孔33-φ7.5mm 表面处理: なし</p> <p>2) 接合具</p> <p>「木ねじ TBB-105」 33本 材 質: 以下の化学成分を満たす炭素鋼 C:0.15~0.23% Mn:0.60~1.00% P:0.030%以下 S:0.050%以下 寸 法: 頭部径φ10.8mm 軸径6.7mm ねじ山径7.2mm ねじ谷径4.9mm ねじピッチ3.18mm L=105mm ねじ部L=77.2mm ローレット加工あり 表面处理: エコート*2 WH処理</p> <p>「丸座金φ46」 1枚 材 質: SS400(JIS G 3101)*1 寸 法: φ46mm(内径φ22mm) t=12mm 表面处理: なし</p> <p>「六角ボルトM20-450」 1本 材 質: 強度区分10.9を満たす炭素鋼(JIS B 1180及びJIS B 1051) 寸 法: M20 L=450mm 表面处理: 四三酸化鉄皮膜</p> <p>「六角ナットM20」 1個 材 質: 強度区分10を満たす炭素鋼(JIS B 1181及びJIS B 1052-2) 寸 法: M20 表面处理: 四三酸化鉄皮膜</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材: 120mm×120mm×1,300mm JAS 同一等級構成構造用集成材 スプルー ス E95-F315 含水率: 11.0~12.5% 全乾密度: 0.41~0.45g/cm³ 枠材: 45mm×105mm×1,300mm スギ 無等級材 含水率: 11.0~11.5% 全乾密度: 0.36~0.41g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>柱と枠材の接合: 鉄丸くぎN90(@100mm、千鳥) 25本</p> <p>*1 引張強さ400N/mm²以上、降伏点245N/mm²以上の強度を満たす炭素鋼 *2 エコートは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標</p> |
| 6. 試験条件等 | 試験体は、実状に合わせた仕様とし、厚さ45mmの枠材を介して当該接合金物を柱に取り付けた。 試験体は、「六角ボルトM20」と「六角ナットM20」を用いて鉄骨治具に手締めにて固定した。 加力は、柱の脚部側木口面を加圧することにより、接合金物に引張力を作用させた。 また、加力時に試験体の横倒れを防止するためのサポート治具を設けた。 |
| 7. 試験結果 | 短期基準接合耐力 121.4 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す) |
| 8. 試験場所 | ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番 |
| 9. 試験実施日 | 令和6年4月4日、5日 |
| 10. 試験実施担当者 | ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 千葉 博 工藤 健 石田 恵菜 |

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。